

2040年の東京のグランドデザイン —東京のまちに求めること—



東洋大学 水村容子

職住遊近接が実現された都市

- 自己実現が達成される仕事を経験できること
- 経済的に安定した暮らしが送れること
- 安心して住み続けられること
- 多様な人々との共生が実現できること
- 豊かな自然が体験できること
- 多様な文化的活動を享受できること
- 質の高い学びが受けられること

色々な社会・地域の事例を見ながら

「居住」に関して直面している問題点

- 年齢の偏在→後期高齢者の増加
- 少子化・子育て世代の減少
- コミュニティの減退・衰退
- 地域における介護・医療サービスの不足
- 居住継続が実現できる住宅の不足
- 生活を成立させる利便性の欠如

etc

安心して住み続けられること

都市の中にヒューマンスケールで 良質な住宅が供給されていること

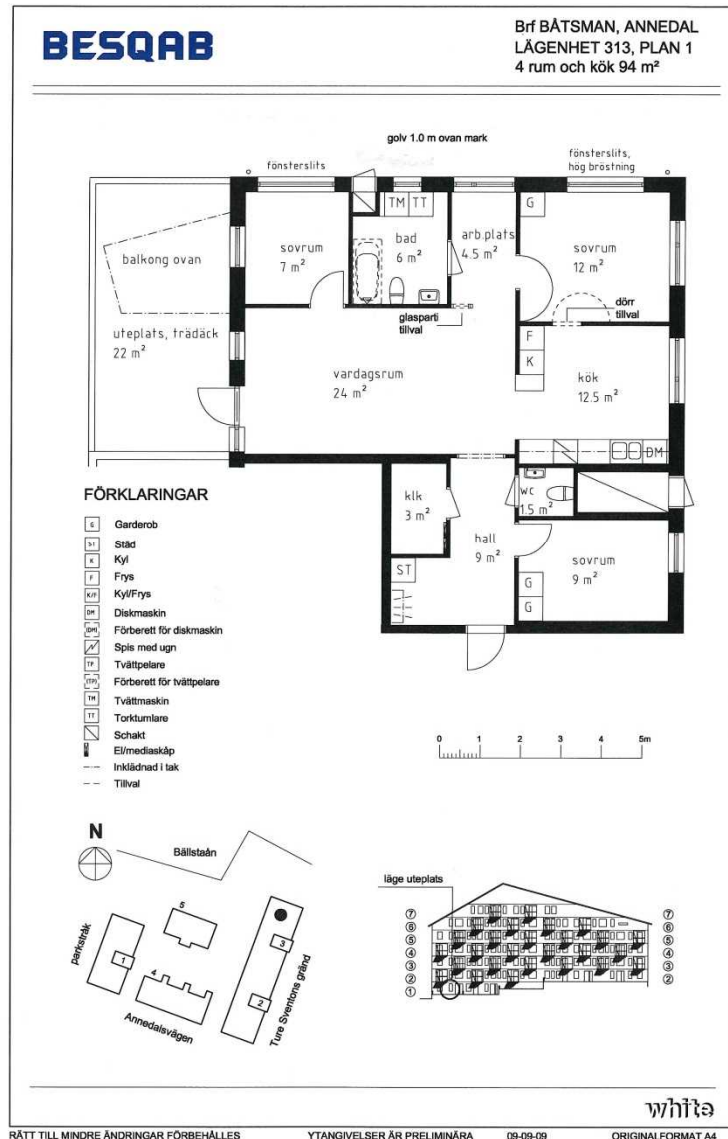


スウェーデン マルメ



オランダ アムステルダム

アクセシビリティが確保された 新規住宅ストックの拡充



ストックホルム・アンネダル地区

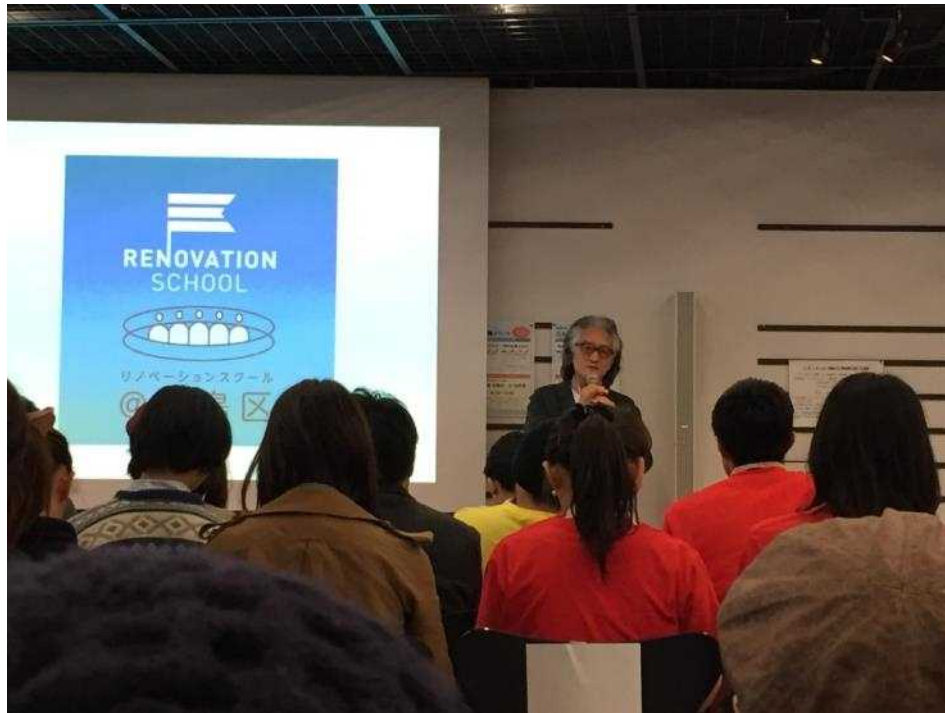
計画建築法によりアクセシビリティが
確保された新規住宅ストック

既存の住宅ストックを改善・活用



スウェーデン 賃貸住宅・持ち家での住宅改修

既存ストックをDIYにより愛着ある住まいへ —豊島区リノベーションまちづくり—



市民自らの手によって、住まいや
街をつくり出す仕組みの創設



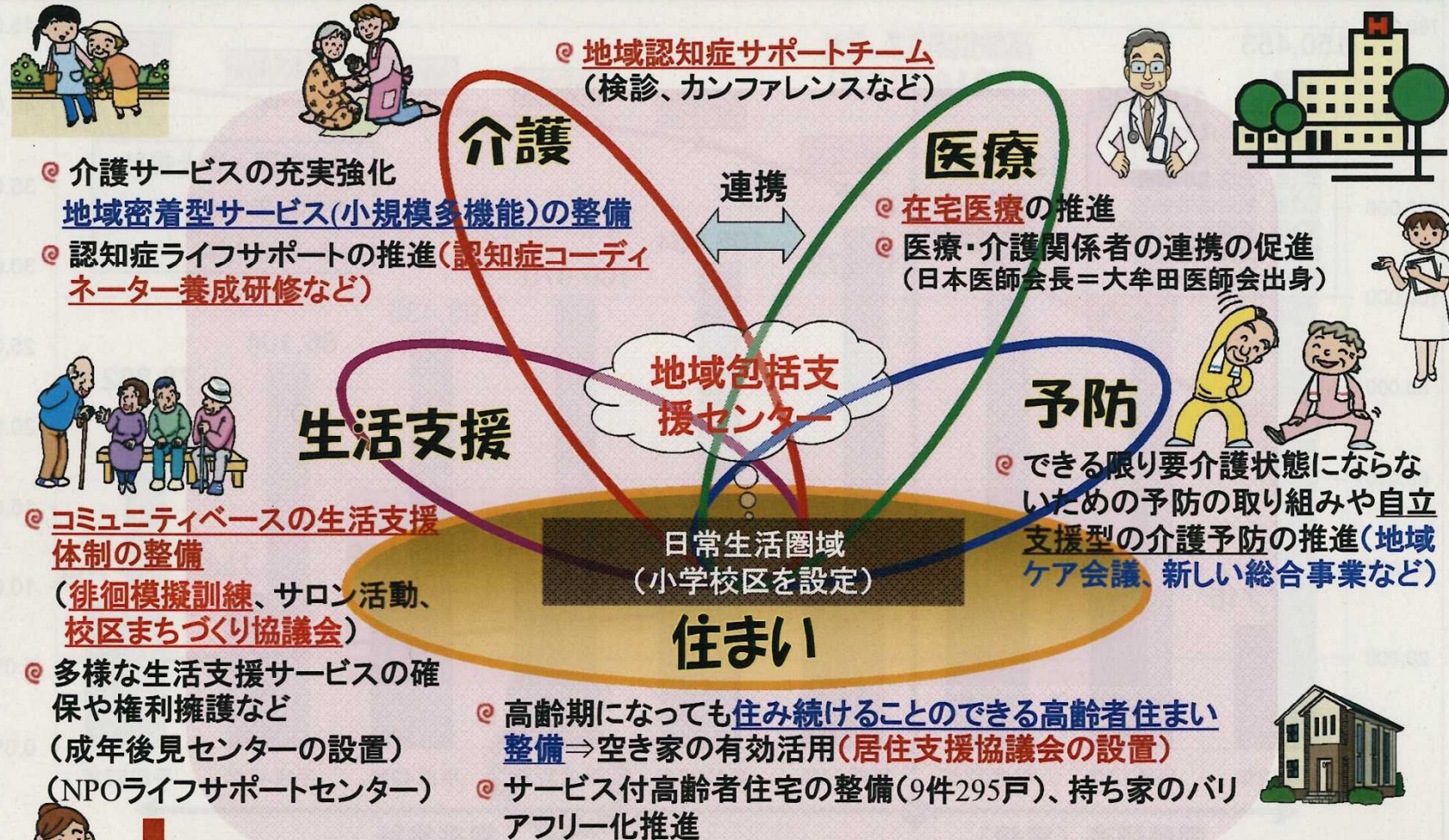
生活を送るために**移動が確保**されること



オランダ アルメール BF化された市街とタウンモバイル

生活に必要な諸施設の近隣への立地

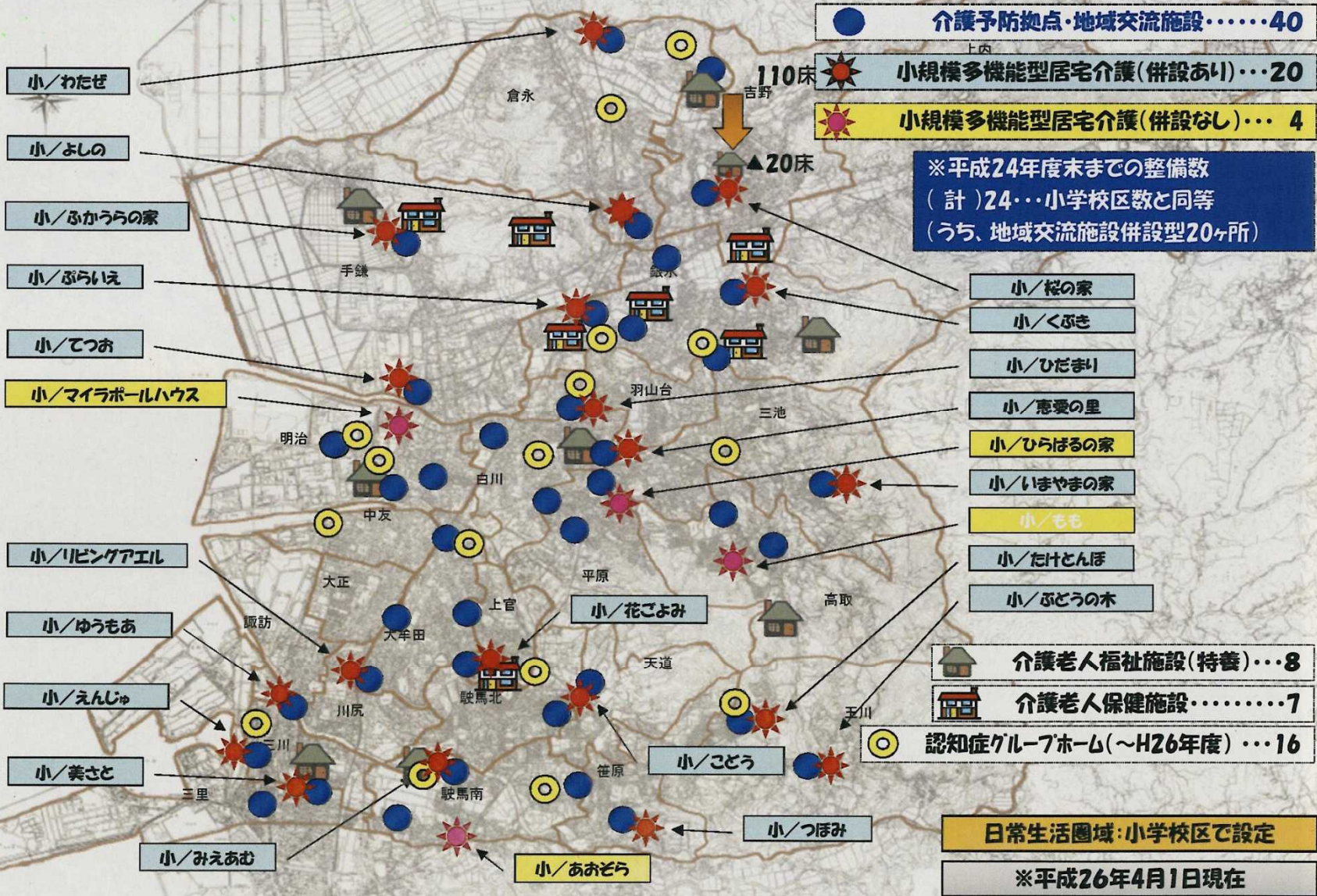
地域包括ケアシステム(大牟田版)について



後期高齢者の急速な人口増に加え、単身・夫婦のみの高齢者世帯が増加。福祉施設の整備だけでは解決できない。地域包括ケアシステムの構築は、超高齢社会において最重要課題。

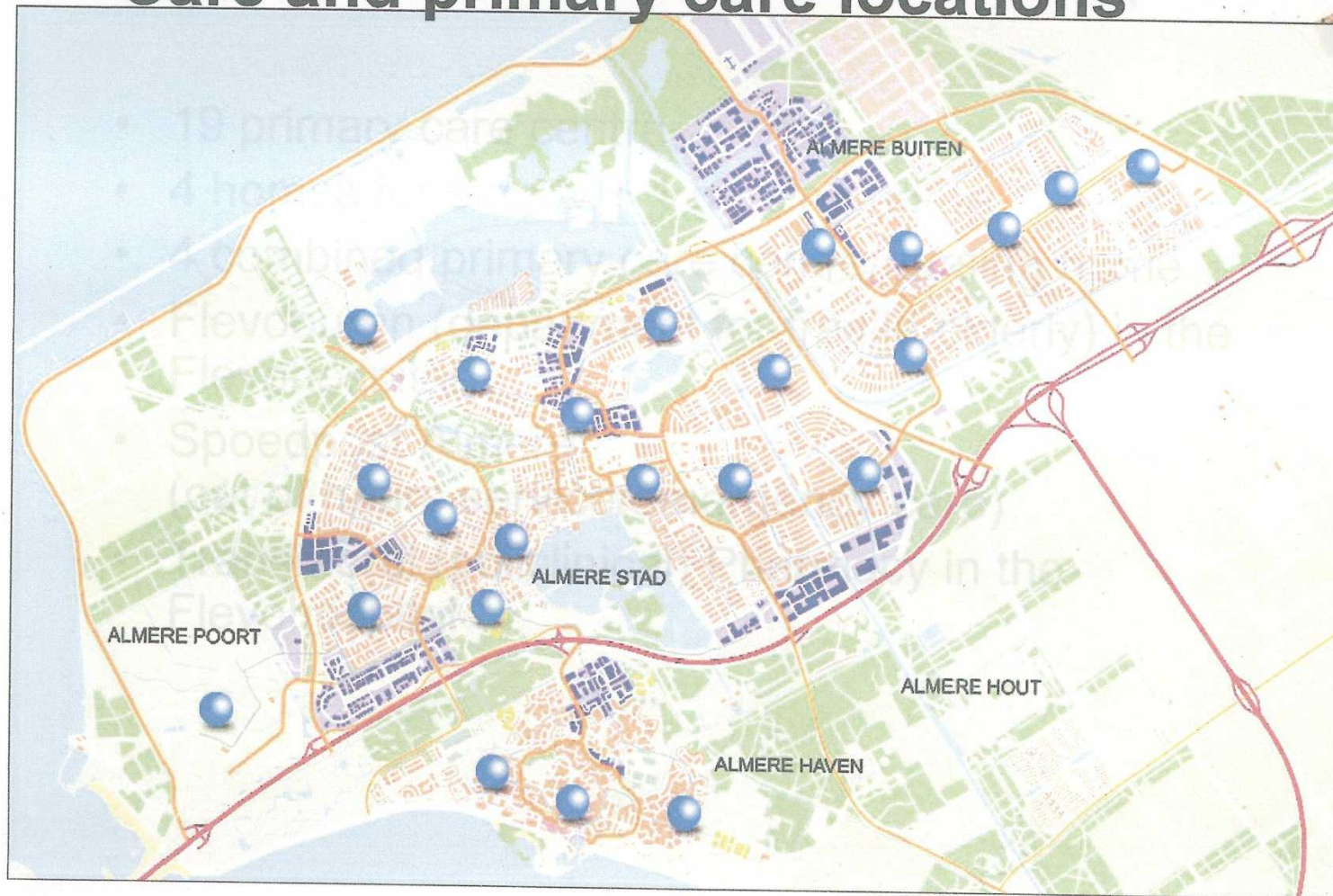
小規模多機能型居宅介護施設及び介護予防拠点・地域交流施設の整備状況

大牟田市平面図



地域の偏りなく施設が適正に配置されることの重要性

Care and primary care locations



医療・介護拠点が適切かつ公平に配置

オランダ・アルメールー都市計画と医療・福祉供給計画の融合

多様な人々との共生が
実現できること

最重要課題—子ども・子育て



なぜ少子化が改善しないのか？
子どもが安心して暮らせる街とは？
子育てしやすい街とは？
少子化に歯止めを効かせる都市づくりとは

避けられない課題 —超高齢社会・多死社会対応—



後期高齢になっても安心して暮らせる都市・街とは
住まいと医療・介護サービスが連携して提供される街

住まいに届けられる終末期医療

- 5. Förenade Care AB
- 5. Ersta diakonisällskap
- 5. ASiH Sabbatsberg
- 5. ASiH Solna/Sundbyberg/SLSO
- 5. Capiro geriatrik AB
- 5. Stiftelsen Stockholms sjukhem

- 6. Löwet ASiH
- 6. Stiftelsen Stockholms sjukhem
- 6. ASiH Järfälla/Upplands-Bro/SLSO
- 6. ASiH Solna/Sundbyberg/SLSO

1. Södertälje sjukhus AB 1

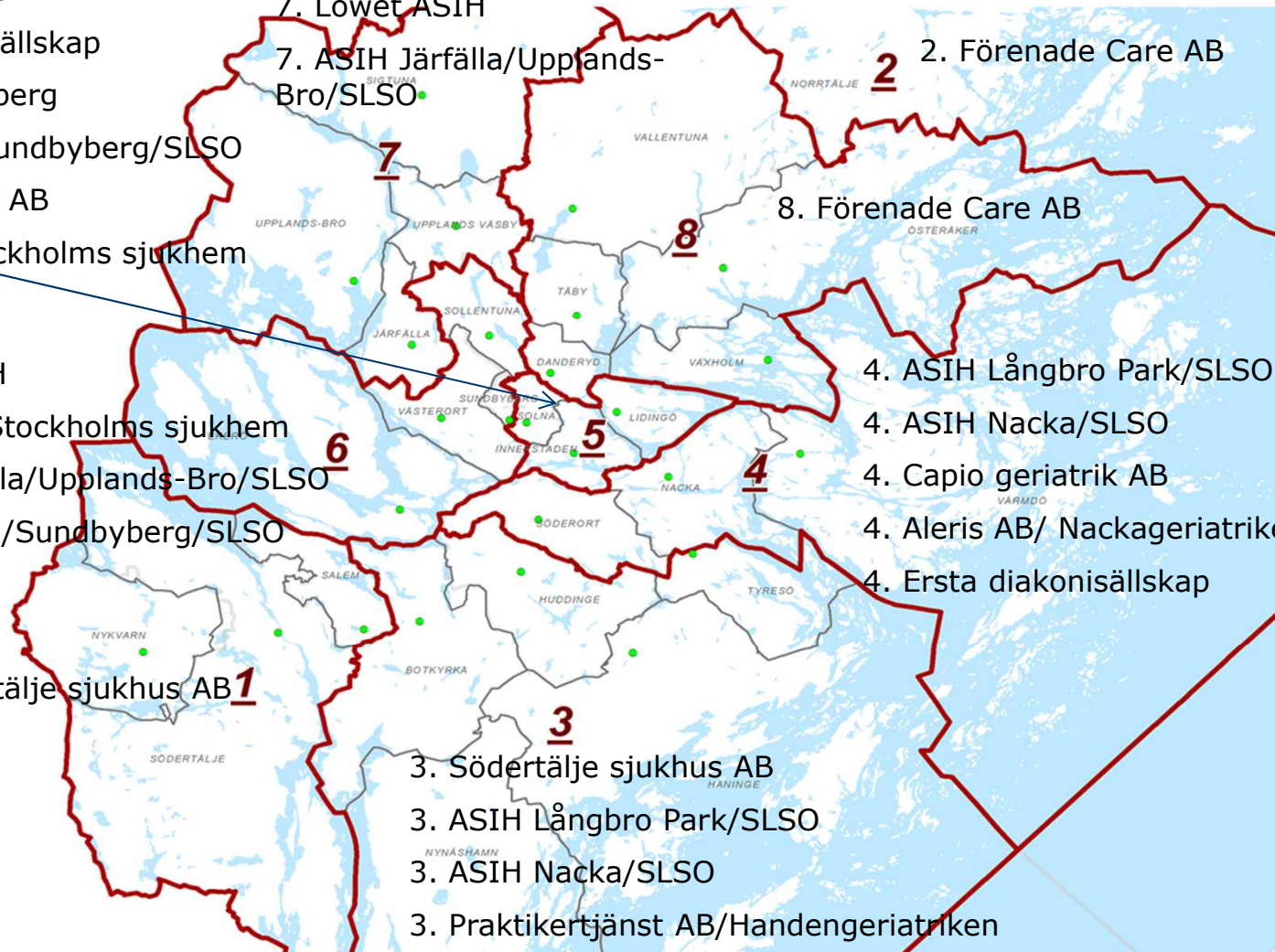
- 7. Löwet ASiH
- 7. ASiH Järfälla/Upplands-Bro/SLSO

- 3. Södertälje sjukhus AB
- 3. ASiH Långbro Park/SLSO
- 3. ASiH Nacka/SLSO
- 3. Praktikertjänst AB/Handengeriatriken
- 3. Capiro geriatriken AB

2. Förenade Care AB 2

8. Förenade Care AB

- 4. ASiH Långbro Park/SLSO
- 4. ASiH Nacka/SLSO
- 4. Capiro geriatrik AB
- 4. Aleris AB/ Nackageriatriken
- 4. Ersta diakonisällskap



Ersta 病院の試み

- ストックホルム南部
セーデルマルム地区
にある私立病院
- 緩和ケア病棟と在宅
緩和ケアユニットの両
方を持つ
- 2010年には北欧初の
子ども・若年者のた
めのホスピスも開設。



- 終末期の住環境整備：医療・保健サービス法を根拠とした住宅改修サービスで網羅
- 頻度の高い改修内容：浴室からのバスタブ除去、シャワーの設置、玄関扉の自動開閉設備の設置、スロープの設置、段差解消、手すり設置、車椅子の使用、天井走行リフトの設置など
- PBLによる住宅のアクセシビリティ規定義務化以降の住宅の方が、圧倒的に改修が少なく、医療・看護・介護が受けやすい。



多様な民族が住宅地で 居住継続できる仕組み—シンガポール



障害のある人の居住を支える —福祉コミュニティ・シェア金沢—



障害のある人の住まいと働く場所
サービス付高齢者住宅
学童保育、助産院・子育て支援施設

安心して住み続けるために

- ヒューマンスケールで良質な新規住宅ストックの誘致
- コンバージョンなども含めた既存住宅ストックの有効活動
- 移動弱者の生活圏におけるモビリティ確保
- 地域生活の成立に必要な諸施設の偏在ない適正配置

多様な人々の共生を支えるために

- 子育てが促進される都市形成
- 最期まで暮らせる都市の形成—医療・福祉サービスの供給と都市計画の連携
- ライフサイクルを通じた外国人・障害者の地域居住への対応